



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本金属株式会社

コード番号 5491 URL <http://www.nipponkinzoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 平石 政伯

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 伊藤 泰正

TEL 03-5765-8100

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	18,399	△9.3	△68	—	△238	—	△127	—
25年3月期第2四半期	20,277	△3.0	367	△46.9	216	△55.8	141	△54.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 158百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △8百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△1.91	—
25年3月期第2四半期	2.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	56,239	15,314	27.2	228.73
25年3月期	55,382	15,156	27.4	226.36

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 15,314百万円 25年3月期 15,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,100	2.7	560	391.3	170	—	190	—	2.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	67,000,000 株	25年3月期	67,000,000 株
26年3月期2Q	46,488 株	25年3月期	44,768 株
26年3月期2Q	66,954,431 株	25年3月期2Q	66,955,854 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日本及び欧米経済回復への期待によるマインド面の改善だけでなく実体経済でも改善がみられ、4月から6月期企業業績は前年同期に対し増収・増益となり、7月から9月期以降も好調に推移する見通しです。また、消費税増税前の駆け込み需要や2020年の東京五輪開催決定による首都圏不動産市況の回復への期待などで、建築・住宅市場では需要が拡大しています。

ステンレス業界においても、国内は自動車や建材向けなどの需要は上向いていますが、輸出は海外市況に改善の兆しはあるものの中国を中心とした国際的な供給過剰が解消されず、本格的な回復には至っていません。

当社グループは、このような状況のもと、第2四半期において、自動車用高精度異形鋼及び海外大手自動車メーカー向けステンレスの量産が本格化するなど、売上数量は回復しておりますが、IT電子機器向けの回復の遅れや海外市況低迷による輸出の伸び悩みにより、売上高及び損益においては、まだ厳しい状況にあります。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期と比べ18億7千8百万円減収の183億9千9百万円となりました。損益面につきましては、営業損益は、前年同期と比べ4億3千5百万円減益の6千8百万円の営業損失となり、経常損益は前年同期と比べ4億5千5百万円減益の2億3千8百万円の経常損失となり、四半期純損益は、前年同期と比べ2億6千9百万円減益の1億2千7百万円の四半期純損失となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント毎の業績は、次のとおりであります。

① みがき帯鋼部門

みがき帯鋼部門では、ステンレス鋼帯において、米国大手自動車メーカーでの採用が初めて決定するなど、自動車用途の受注が拡大し、販売数量では当初計画に対し94%の達成率となっておりますが、電子機器関連や海外市況の低迷により、収益面では厳しい状況で推移いたしました。みがき特殊帯鋼は、主力の自動車向けにおいて日系自動車メーカーの国内生産及び輸出が増加したものの、前年同期を上回るにはいたりませんでした。また、マグネシウム合金帯は、モバイル機器向け極薄板の採用により、売上は増加し上半期で黒字化を達成いたしました。その結果、みがき帯鋼部門の売上高は、前年同期と比べ18億1千7百万円(10.9%)減収の148億2千5百万円となり、営業利益では、前年同期と比べ4億1千3百万円(74.1%)減益の1億4千4百万円となりました。

② 加工品部門

加工品部門では、新事業の自動車部品用高精度異形鋼の量産本格化や建築部材の拡販活動により売上は堅調に推移いたしました。また、油田探査センサー用精密管や太陽光発電パネル架台用型钢などエネルギー関連の受注が好調に推移しました。タイ王国では、加工品工場の増設により生産・販売のグローバル化を推進しております。しかしながら、欧州景気低迷の影響を受け自動車向け耐熱精密細管の売上は減少いたしました。その結果、加工品部門の売上高は、前年同期と比べ6千万円(1.7%)減収の35億7千4百万円となり、営業利益は、前年同期と比べ7千7百万円(24.5%)減益の2億3千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ8億5千7百万円増加の562億3千9百万円となりました。流動資産は、9億7千9百万円増加の244億4千8百万円となりました。現金及び預金は、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったことによる未決済の受取手形（7億9千8百万円）が決済されたこと、投資有価証券の売却収入等があった一方、設備投資支出があったこと等により、7億3千万円増加しております。受取手形及び売掛金は、前連結会計期間後半に比べ売上高は増加したものの、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったことによる未決済の受取手形の決済等により1千8百万円減少いたしました。流動資産のその他は、主に繰延税金資産が3億6百万円増加（長期の繰延税金資産は4億5千万円減少し、繰延税金資産は合計で1億4千4百万円減少）したことにより3億3千万円増加いたしました。固定資産は、1億2千2百万円減少の317億9千1百万円となりました。これは主に、有形固定資産が1億5千8百万円増加し、また投資その他の資産は株価上昇により投資有価証券が1億9千5百万円増加したものの、長期の繰延税金資産が4億5千万円減少したこと等により2億5千万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ6億9千9百万円増加の409億2千5百万円となりました。流動負債は28億8千7百万円増加の266億7千1百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が8億8千2百万円増加し、短期借入金が21億3千8百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は21億8千8百万円減少の142億5千4百万円となりました。これは主に、長期借入金が20億6千7百万円減少し、退職給付引当金が1億1千7百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ1億5千8百万円増加の153億1千4百万円となりました。株主資本は、利益剰余金が減少したことにより1億2千8百万円減少いたしました。その他の包括利益累計額は、株価上昇によりその他有価証券評価差額金が1億5千万円増加したこと、円安の進行により為替換算調整勘定が1億3千2百万円増加したこと等により、2億8千6百万円増加いたしました。

以上の結果、当連結会計期間末の自己資本比率は、27.2%（前年度末 27.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間は国内及び米国の景気が堅調に推移したものの、中国など新興国の景気に陰りがみえはじめ、欧州についても先行き不透明な状況で推移しました。

第3四半期連結会計期間以降につきましては、米国における財政再建及び金融緩和縮小問題や、欧州並びに中国をはじめとする新興国の景気不安など、回復基調にある国内経済に対しマイナス影響を及ぼすリスクを抱えております。

このような環境のもと、当社グループは国内及び海外での新事業と販売の拡大、継続的なコストダウンによるコスト体質強化、新設備導入や既存設備改善による品質と生産性向上などの活動をさらに徹底してまいります。

尚、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、平成25年10月25日発表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で開示いたしました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,028	4,758
受取手形及び売掛金	10,023	10,005
商品及び製品	3,995	3,656
仕掛品	3,700	3,940
原材料及び貯蔵品	1,127	1,166
その他	654	985
貸倒引当金	△61	△64
流動資産合計	23,468	24,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,112	4,016
機械装置及び運搬具（純額）	5,649	6,144
土地	16,454	16,461
その他（純額）	1,867	1,619
有形固定資産合計	28,083	28,242
無形固定資産	154	124
投資その他の資産		
投資有価証券	2,201	2,397
その他	1,524	1,065
貸倒引当金	△51	△38
投資その他の資産合計	3,675	3,424
固定資産合計	31,913	31,791
資産合計	55,382	56,239
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,448	10,331
短期借入金	11,975	14,114
賞与引当金	256	240
その他	2,103	1,984
流動負債合計	23,783	26,671
固定負債		
長期借入金	11,362	9,294
再評価に係る繰延税金負債	3,533	3,533
退職給付引当金	1,269	1,151
その他	277	274
固定負債合計	16,442	14,254
負債合計	40,226	40,925

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,857	6,857
資本剰余金	986	986
利益剰余金	1,493	1,365
自己株式	△8	△8
株主資本合計	9,328	9,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	515	665
繰延ヘッジ損益	△3	—
土地再評価差額金	5,357	5,357
為替換算調整勘定	△41	91
その他の包括利益累計額合計	5,828	6,114
純資産合計	15,156	15,314
負債純資産合計	55,382	56,239

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	20,277	18,399
売上原価	17,337	16,064
売上総利益	2,939	2,334
販売費及び一般管理費	2,572	2,402
営業利益又は営業損失(△)	367	△68
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	30	27
受取賃貸料	31	62
スクラップ売却収入	24	29
その他	34	20
営業外収益合計	122	141
営業外費用		
支払利息	124	114
退職給付費用	128	128
その他	20	68
営業外費用合計	273	312
経常利益又は経常損失(△)	216	△238
特別利益		
固定資産売却益	9	2
投資有価証券売却益	26	228
会員権売却益	—	1
特別利益合計	35	232
特別損失		
固定資産除却損	7	13
投資有価証券評価損	38	—
会員権評価損	0	1
特別損失合計	46	15
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	205	△21
法人税、住民税及び事業税	40	34
法人税等調整額	23	71
法人税等合計	63	106
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	141	△127
四半期純利益又は四半期純損失(△)	141	△127

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	141	△127
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△171	150
繰延ヘッジ損益	3	3
為替換算調整勘定	18	132
その他の包括利益合計	△150	286
四半期包括利益	△8	158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8	158
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。